

及川町長に聞く

このまちの子どもに見せた
い「未来へ飛躍するふるさと」
づくりを目指す及川町長。そ
のまちづくりを実現するため
に欠かせない「6つの柱」に
ついて伺いました。

子どもの夢とチャレン ジを支援

■保護者が「安平町で子ども
を育てたい」と思い、子ども
たちが「このまちに生まれて
良かった」と感じる環境を創
るため「仮称：子ども教育環
境条例」を制定。

■ふるさと納税の使い道を見
直し、一億円の教育予算特別
枠制度を創設。子どもが夢を
抱き、自分の未来を自ら掴む
ことができる子育て・教育を
実現。



地域再生へのチャレン ジを支援

■連合自治会・町内会連合会
単位で住民主導の地域別計画
を策定し、町職員や都会の若
者・学生が地域に入り、町民
とともに計画等の策定を行う
体制作りを実施。

■「あびらまちづくりファン
ド」を財源に、町民が行う大
型事業を支援。
■早来地区の新たな拠点整備
を目指す。

経済活性化チャレンジ を支援

■地域に不足する業種と首都
圏在住の起業創業希望者のマ
ッチングを図る「起業創業×
移住プロジェクト」を実行。

■道の駅の開業に向け、農・
商が互いの価値を共に高める
町民チャレンジを応援。

■「駅周辺の玄関整備プロジ
ェクト」を立ち上げ、交通と
観光、地域商業の結節拠点の
整備を目指す。

■ときわ公園・鹿公園のオー
トキャンプ場化や交流拠点を
自転車・馬などをキーワード

に繋ぐ取り組みを検討。

■空き家・中古住宅を活用し
た「中長期滞在住宅」、「定住
促進住宅」を整備。

医療・福祉・介護にチャ レンジ

■医療過疎の打開に向けた取
組を実現。

■福祉サービスを支える町民
の取り組みへの買物ポイント
付与制度創設など、ボラン
ティアのやりがい・生きがい
を増幅する仕組み作りを実施。

■高齢者や障がいのある方が
地域活動できる場を創出。

■地域農産品による食と運動
をメインとした「健康寿命あ
びらプロジェクト」を立ち上
げ。

■「起業創業×移住プロジエ
クト」を活用し地域課題の解
決を図る。

■福祉・介護専門職を目指す
学生とUターン施策を組み合
わせた奨学金制度を創設。



持続可能なまちへチャ レンジ

■若者がふるさとに帰るため
の後押しをする新たな定住対
策を制度化。

■児童生徒や高齢者など、車
を持たない方へ配慮した地域
公共交通を実現。

■仕事の町内循環を促進し、
町内企業の育成に向けた取り
組み方法を検討。

■町民の要望や懸案の解決に
向けた公共インフラ整備は、
優先順位を付けながら計画的
に取り組む。

「役に立つ場所」改革へ チャレンジ

■役場職員の採用方法を見直
し、将来のまちづくりに必要
な本気の人材を厳選する方式
を確立。

■少年団指導など、地域活動
に入り大きな成果を上げる職
員の評価システムを確立。

■委員報酬が発生する各種委
員会等の会議資料と会議録を
常設公開し、情報共有を図る。

■秘匿性の薄い単純業務や公
共施設の運営管理の外部委託
など不断の行政改革を実施。



及川町長初登庁・インタビューは
5月1日からあびらチャンネルで放送中。